

第6回 中心市街地賑わい再生社会実験 専門部会

資料

目次

1. 前回の意見概要・結果報告
2. 社会実験の振り返り
3. 効果検証
4. 総括

平成28年3月22日(火)

松山市 都市整備部 都市デザイン課

1. 前回の意見概要・結果報告

1.1 意見概要とその対応結果について

表 意見概要とその対応について

第5回専門部会での主な意見 (H27.11.13 (金))		事務局等の応答	対応結果
分類	内容		
情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 各種アンケート調査結果等を鑑みると、否定的な意見については、UDCMの設立の目的や主旨が伝わっていないことが原因だと思われる、それは、この1年間の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 設置の目的・活動内容について丁寧に説明していく必要がある (UDCM) 	<ul style="list-style-type: none"> 説明パンフレットの作成 アンケート調査に同封し、理解・共感・必要性についてニーズを調査 (後述)
利用者・利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設の機能、目的として「観光」という視点もある。 利用者アンケートに県内外の内訳はあるのか。 ビジネスセンター的役割を持たせてもおもしろい。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの属性に「どこから来たか」を調査しているため、改めて説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の県内外・市内外を整理。(後述)
管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> 夜間ひろばをあけることも検討してはどうか。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会にて審議し、実施 (後述)
総括	<ul style="list-style-type: none"> 約1年の社会実験を通じて、様々な活動をボトムアップで進めて、現在に至り、個別に効果が発現している面もある。 一方で、本日の観光の議論にあるように、この場所の多様な可能性もある。 本施設が有効活用できていない面もあり、どういった可能性があるのかというのを中長期的にも見ながらそれを検証していくことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 中長期的な検証の必要性やそのための継続について、事務局としても前向きに検討していきたい。 	

1. 前回の意見概要・結果報告

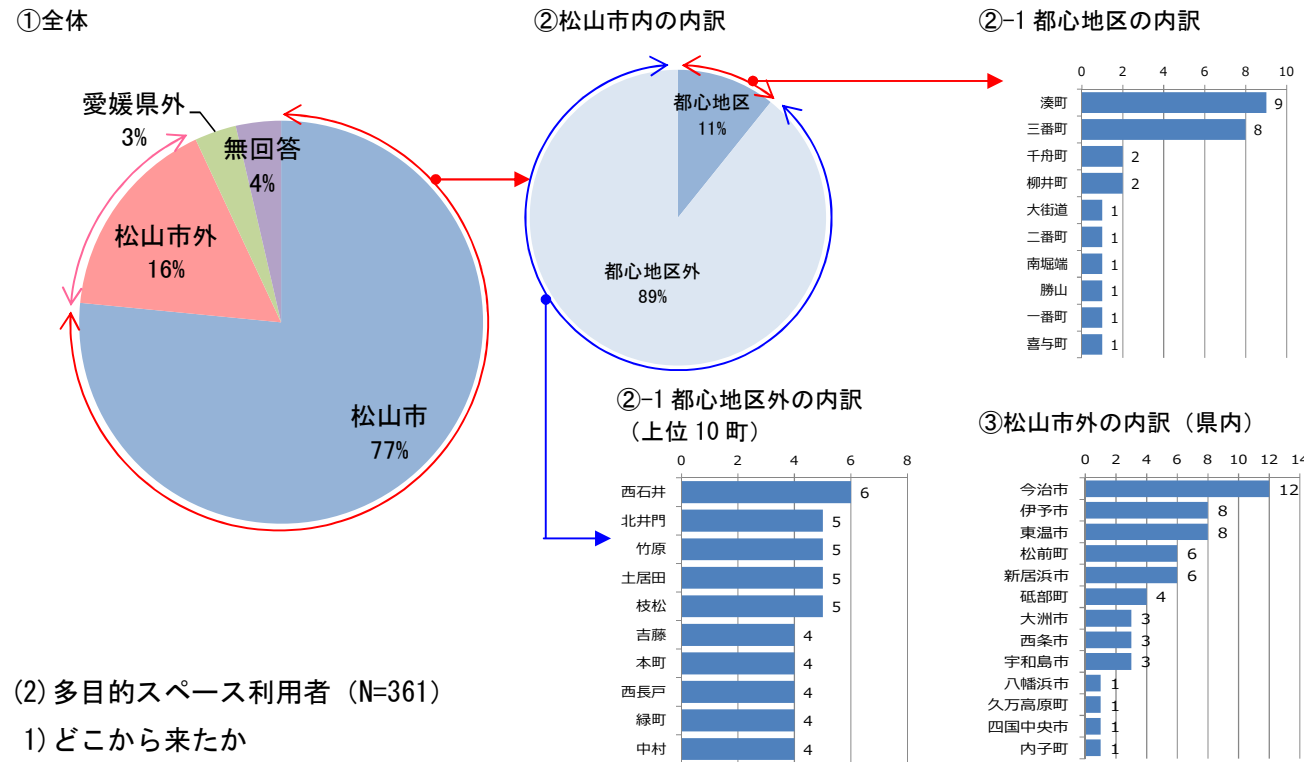
1.2 【前回意見への回答】利用者属性について

- ・市内の都心地区外や、市外からの利用者が多い。
- ・市外では、東温市をはじめ、隣接する市町からの利用客が多い。

- ・みんなのひろばは、「買い物」目的で来街した方による立寄りとして利用されている。
- ・多目的スペースは、「買い物」・「飲食」目的で来街した方による立寄りとして利用が多いが、特に、市内居住者において、「通勤・通学」目的の割合が高く、高校生による帰宅途中の立ち寄りであると思われる。

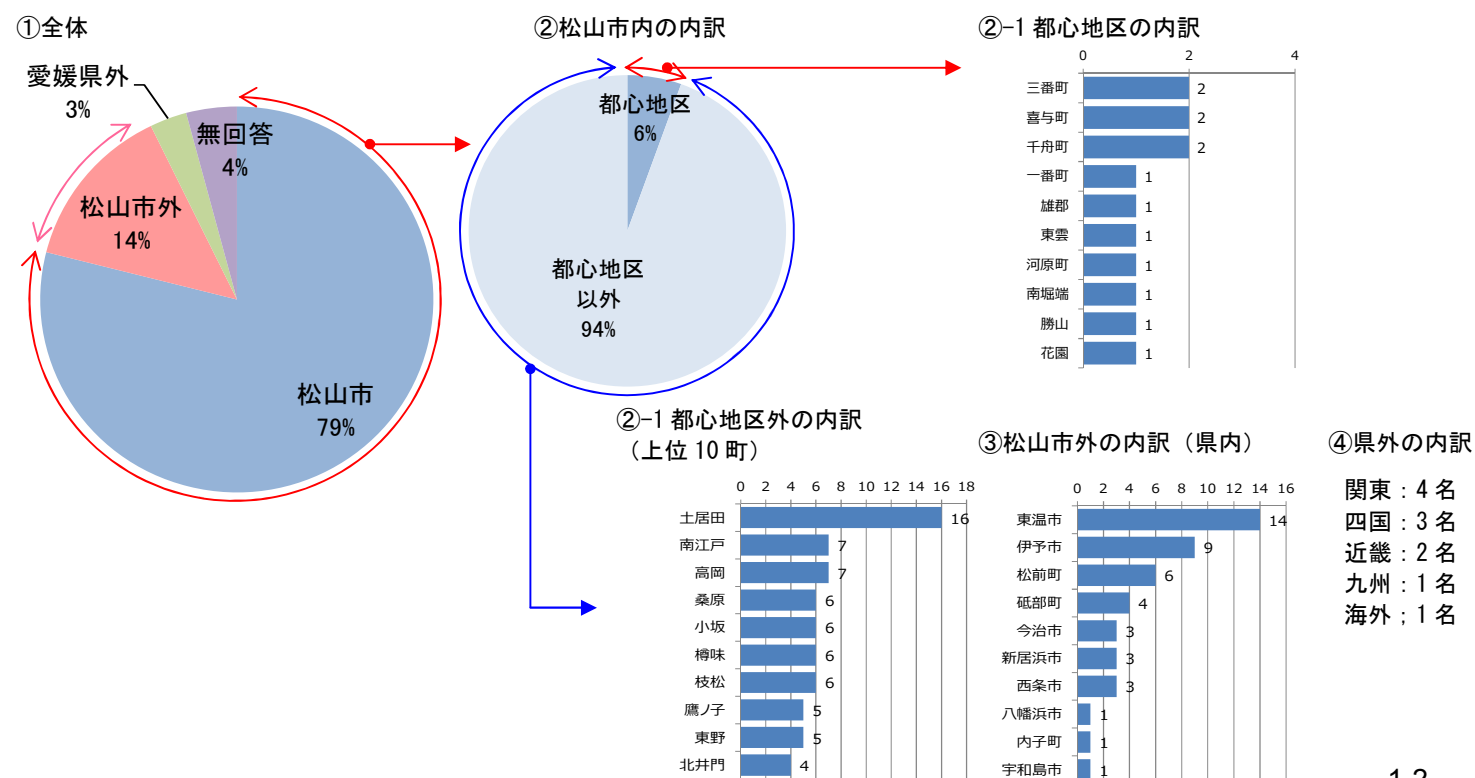
(1) みんなのひろば利用者 (N=388)

1) どこから来たか



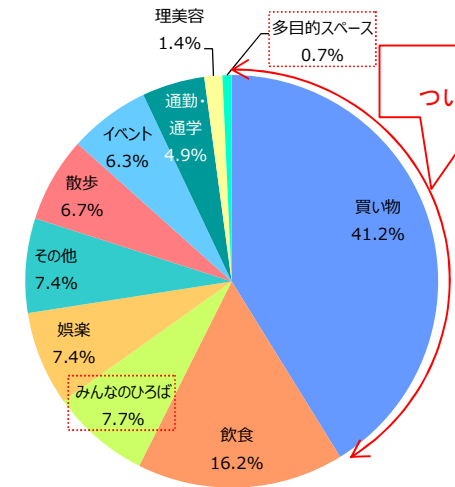
(2) 多目的スペース利用者 (N=361)

1) どこから来たか

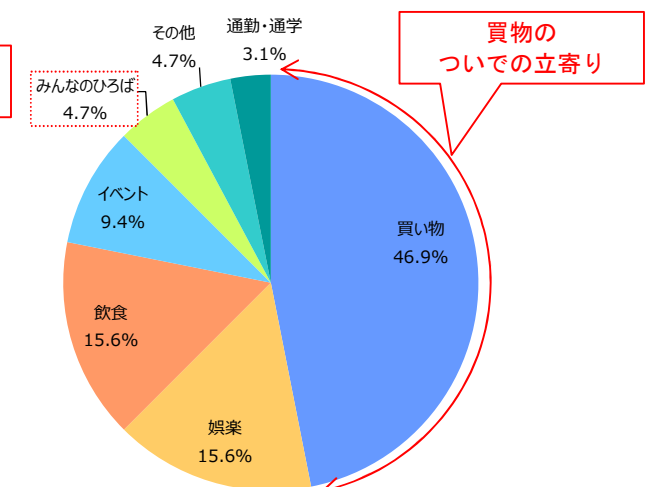


2) 目的

②松山市内の内訳 N=284



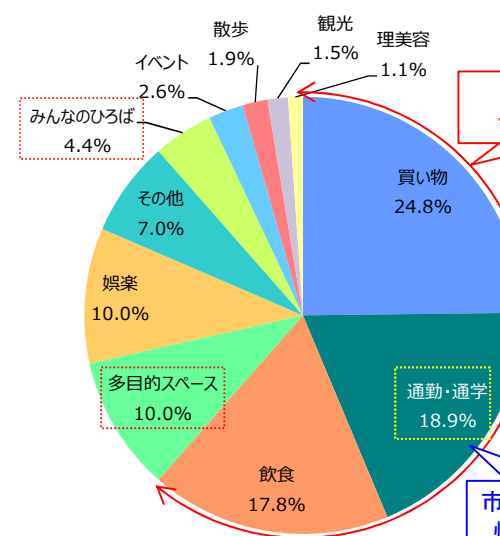
③松山市外の内訳 (県内) N=64



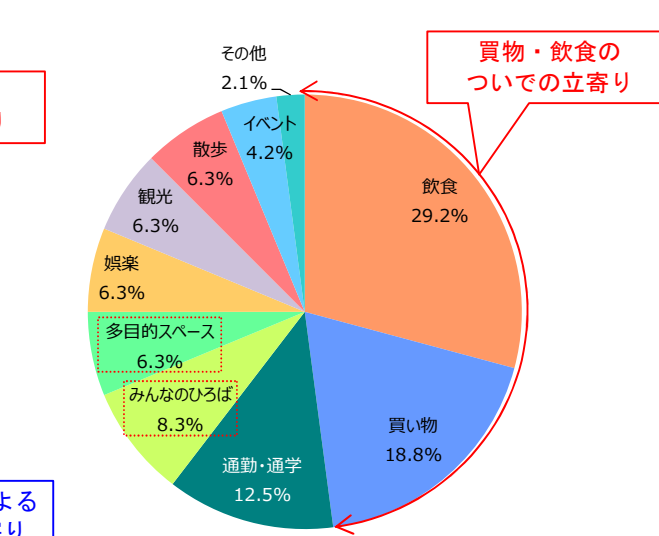
④県外者
買い物、飲食、観光が目的

2) 目的

②松山市内の内訳 N=270



③松山市外の内訳 (県内) N=48



④県外者
買い物、飲食、観光が目的

1. 前回の意見概要・結果報告

1.3 【前回掲示】課題及び今後の方向性・具体策

現状及び課題

【1】利用者の満足度は高い、一方で、認知度が低い、目的・活動内容がうまく伝わっていない。

- ①来街者の利用経験者は 1割～2割 (参考: 8,000人/4h^{※1} × 2割^{※2} = 1,600人)
- ② " " の認知度は 2割～3割
- ③「何をするとところか分からない」という意見もある。

(課題)

⇒ひろば・UDCMの認知度や利用者を増やすための活動が必要。
⇒その結果、更なるファンの増加は期待。

※1) 銀天街北口通行量 ※2) みんなのひろば利用経験者の割合 (街頭アンケート結果)

【2】利用者数は着実に増加する、一方で、利用者が固定化、本来的な使い方に疑問、来街など行動変容には至っていない。

- ①雑談・休憩利用 (全休憩の6割) のうち、女子中高生が約5割
- ②来街頻度、滞在時間の向上は顕著でない。

(課題)

⇒新たな利用者層への拡大
⇒まちづくり・アーバンデザインに資する利用・活動へのシフト
⇒まちなかに来る新たな目的を創出が必要

【3】様々な活動 (イベント・行事) が蓄積される、一方で、今後の管理組織形態を見据えた活動・プロジェクトが未成熟

(課題)

⇒まちなかで暮らす人・営む人を巻き込んだ継続的なプロジェクトが必要。

【4】受付スタッフ・UDSなど学生を中心とした企画・活動が立ち上がる、一方で、周辺店舗との関わりが弱い。

- ①店舗アンケートでは、「関係ない・影響ない」との声も。

(課題)

⇒まちなか (周辺地域) によつての必要性・実用性の向上。

方向性

(1) まちづくりに関する
情報発信機能の強化

(2) 新たな利用者層への
拡大

(3) 利用促進・
きっかけづくり

(4) ひろば・施設に関わる
仲間づくり

具体策

①プロジェクト紹介パネルの
充実・即時性の向上

②まちなか模型の設置

③まちライブラリー
(図書館機能)

④ひろばのはたけプロジェクト

⑤商店街等との連携イベント

引き続き、中・長期的な視点での取り組み・効果検証が必要

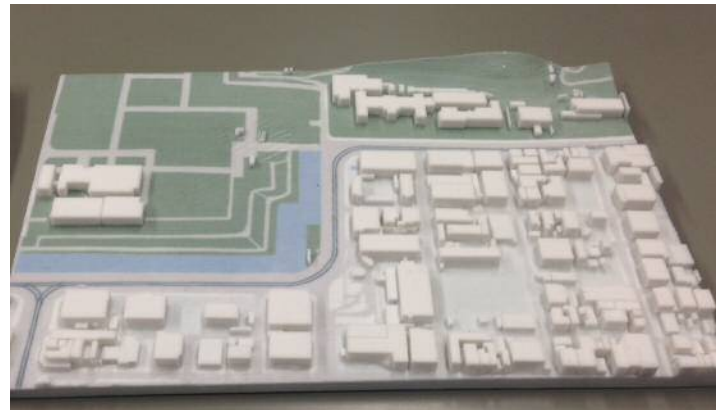
1. 前回の意見概要・結果報告

1.4 具体的な対応結果

①プロジェクト紹介パネルの充実・即時性の向上

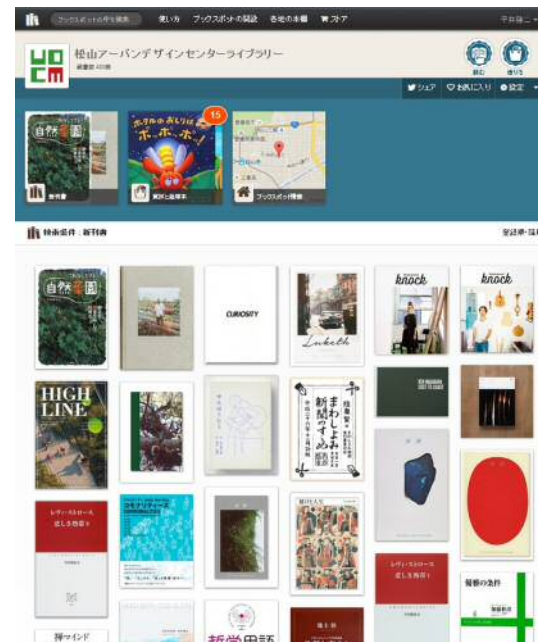
②まちなか模型の設置

- ・情報発信が可能なプロジェクト紹介パネルを設置。今後、市政やまちなか情報などの発信を促進する。
- ・まちなかの模型を設置、UDCMでの活動や市民がまちについて考えるきっかけになることを期待。



③まちライブラリー（図書館機能）

- ・約490冊の蔵書を設置し、貸出サービスを実施することで、UDCMに来る新たな目的・きっかけを創出。
- ・蔵書を目的に来る常連の方や貸出利用登録など、利用は促進されている。



- ・総貸出数：延べ133冊
- ・登録者数：38名
 - ①利用者カード：23名
 - ②facebook：15名

④ひろばのはたけプロジェクト

- ・H27年9月～12月の期間中、みんなのひろばの一角を活用し、市民参加のもと、受付学生スタッフがWS形式での農作物の栽培を通じたコミュニケーション活動を実施。
- ・市民が主体となってひろばを活用するモデルプロジェクトとして、活発な活動となり、どんな作物を作るか～収穫・試食までを実施。
- ・参加者の満足度も高く、“学生”が主体的に取り組むことへの評価も高かった。

【概要】

- 参加者：毎回20名程度（まちなか居住者）
- スケジュール（実施）

- ①第1回WS（H27.9.26（土））
・じゃがいもの植え付け、野菜決め
- ②はたけ活動（H27.10.18（日））
・植え、看板づくり
- ③はたけ活動（H27.11.7（土））
・かかしづくり、間引き作業
- ④第2回WS（H27.12.13（日））
・収穫・試食



⑤商店街等との連携イベント

- ・オープン当初から松山のまちづくりについて自由に意見交換を実施し、交流を広げる目的で交流会を開催して、2/29は商店街の方々とUDCMの関係者とともに、約1年半の社会実験を通じて、その振り返りや課題、今後の連携等について自由に意見交換を行った。



2. 社会実験の振り返り

2.1 全体スケジュール

		平成 26 年度										平成 27 年度												
時期		7月	8月	9月	10月	11月	12月	H27/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H28/1月	2月	3月		
施設整備		駐車場解体	本格工事			オープン												1周年						
効果検証	ひろば	利用者カウント (月4日平休)																						
		利用者アンケート (月4日平休)													+夜市 シールアンケート インタビュー	+夜市 シールアンケート インタビュー								
	UDC	利用者カウント (毎日)																						
		利用者アンケート (月4日平休)																						
	占用	使用者アンケート (随時)																						
	街頭	来街者アンケート (定期)						●12/27 (1ヶ月)								●8/22 (半年後)							●2/13 (1年後)	
	企業・店舗 住民	アンケート (定期)								●3/末 (3ヶ月)						●8/末 (半年後)							●2/末 (1年後)	
	ひろば前道路の通行量調査 (毎月平日・休日 各1日)									● (Sフェス)			● (6/18, 21)	● (7/16, 19)		● (9/17, 20)			● (12/17, 20)			● (2/18, 21)		
	アーバンデザインスクール (月2回、金曜日)							【第1期】				● (4/11)				● (9/17, 20)								
	自主事業	人が集まる・回遊する	周辺情報案内																					
賑わいイベント					芝張り	工房見学		DIY/クリスマス	意見募集 総選挙	交流会	キャンドル/DIY			夜市 6/20, 27	夜市 7/土	夜市 8/1	ひろばのはたけ 9/26	10/18 ハロウィン 10/31	ひろばのはたけ 11/7	クリスマス企画	新年の抱負 カルタ			
交流会 (M' bar)									2/27		4/11			◇てくるん 科学教室	◇I799 納涼落語 8/19	◇商店街 懐かし遊び					◇地元連携 クリスマス企画	2/29		
まちづくり を学ぶ ・考える		まちなか図書館																						11/末~ まちライブラリー (蔵書約480冊)
		まちの展示会 (写真・絵画・俳句)													DIY 写真展	昔写真展								プロジェクト紹介・ひろばのはたけ日記を常時展示
【一般市民・団体活動】(占用使用)																								
プログラム等		フォーラム (全2回)					第1回 ● (11/1)																	第2回 ● (2/20)
		ワークショップ (全6回)		第1回 ● 8/20	第2回 ● 9/22								第3回 ● 5/12				第4回 ● 9/26		第5回 ● 12/13			第6回 ● 1/13		
		専門部会		第1回 (8/20)	第2回 (9/22)					第3回 (2/13)			第4回 (5/26)						第5回 (11/13)					第6回 (3/22)
大街道・銀天街での恒例イベント※1)										・スワリング フェスタ (3日間)				・俳句甲子園 地方大会 (6/13-14) (6/20-21)	・松山まつり ・俳句甲子園 (8/21-23)	・シルバーク イベント	・みんなの生活展 (10/17-18)							
毎月2,4土曜日ふるさと火曜産直市(大街道1丁目、2丁目アーケード内)																								

◇: 地元商店街や周辺店舗とのタイアップにより実施する自主事業 ●: 事務局主体の自主事業・プログラム

2. 社会実験の振り返り

2.2 みんなのひろば・多目的スペースの利用状況

①みんなのひろばの利用者数（推計※）

- ・社会実験期間中（14ヶ月間）の延べ利用者数は、約**62,500人**。（推計値）（約4,460人/月）
- ・夏季では、土曜夜市などの地域イベントと連動して、利用時間を延ばした結果、多くの方の利用で賑わいを見せた。

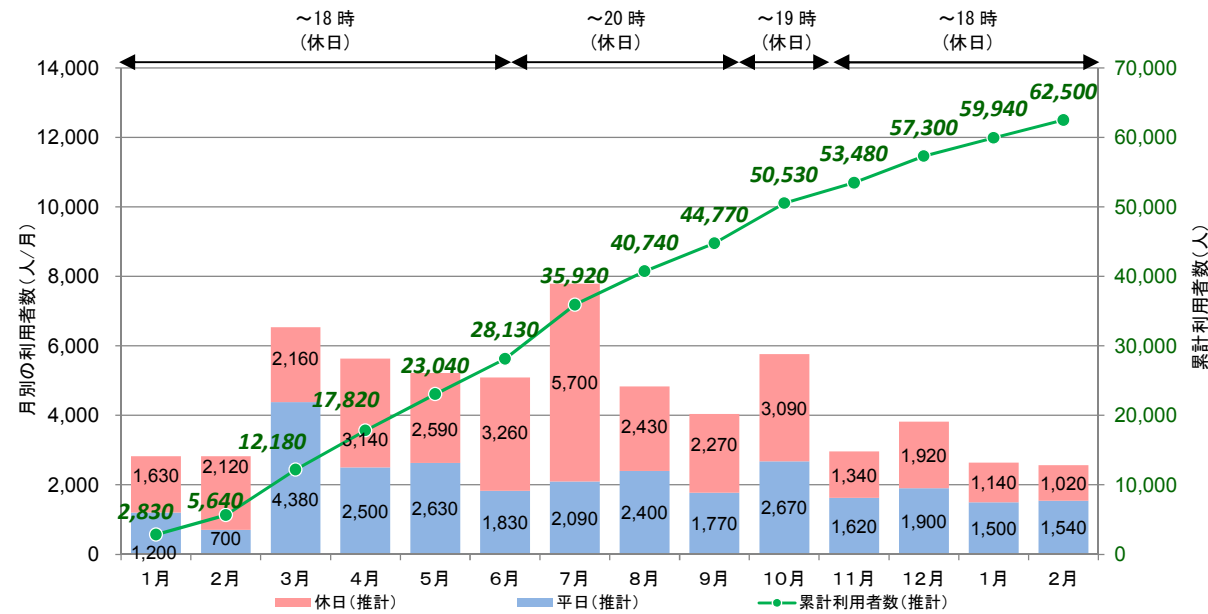


図 利用者数（推計）

※推計：平均利用者数（調査結果）を各月の日数（平日・休日別）を乗じて換算（土曜夜市の利用者数・日数も考慮）した推計値。

	H27.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H28.1月	2月
平日	63人	37人	199人	119人	146人	83人	95人	116人	93人	127人	85人	100人	79人	77人
休日	181人	235人	240人	349人	199人	222人(966人)	158人(1227人)	142人(1084人)	206人	309人	122人	213人	127人	113人
日数	19日	19日	22日	21日	18日	22日	22日	20日	19日	20日	19日	19日	19日	20日

注1) ()内は土曜夜市の日数及びカウント数 注2)8月は、土曜プール(平日1日、休日2日)、お化け屋敷(休日1日)の参加人数を別途計上
注3)月別のカウンティング日の平均値

②みんなのひろばの利用者属性

- ・平日・休日共に、多くの家族連れ、友人同士など幅広い世代で利用があった。
- ・平日は中・高生、休日は小学生の遊び場、滞留空間になっている。

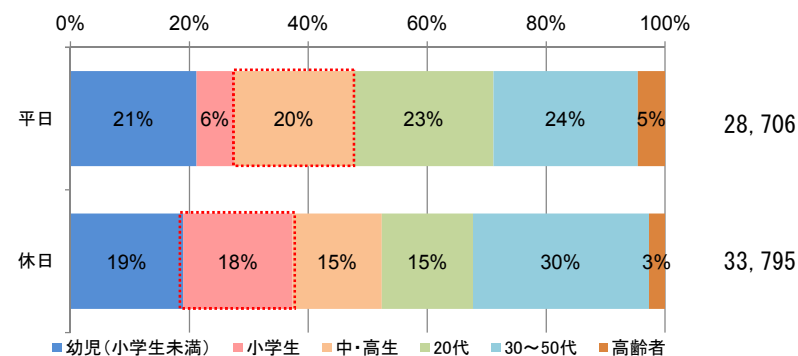


図 利用者属性（H27.1～H28.2月）



資料/ひろば利用者カウント調査

③多目的スペースの利用者数

- ・社会実験期間中（16ヶ月間）の延べ利用者数は、約**24,510人**となっている。（約1,530人/月）
- ・昨年度のオープン後と比べると、11月～2月まで全て増加しており、**1.2倍～1.8倍**。

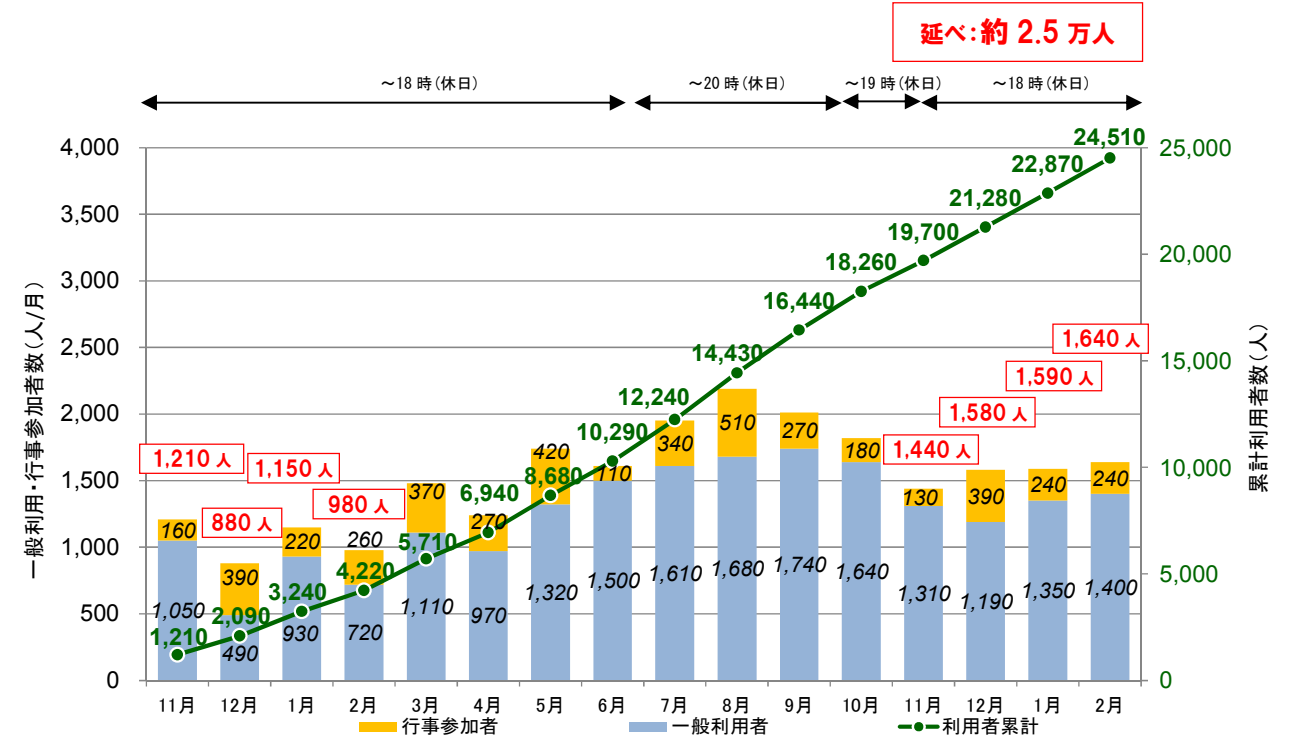


図 利用者数

④多目的スペースの一般利用者の活動属性

- ・日常の一般利用者の活動としては、平日は、休憩利用が約6割以上、休日は、来街した方がトイレ利用のみで立寄る姿がよく見られる。
- ・ライブラリー設置によって、図書利用の常連が増えるなどの傾向も見られる。

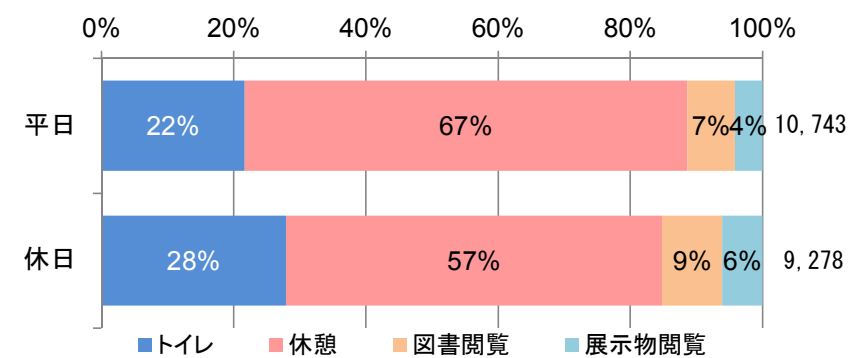


図 利用者属性（H26.11～H28.2月）



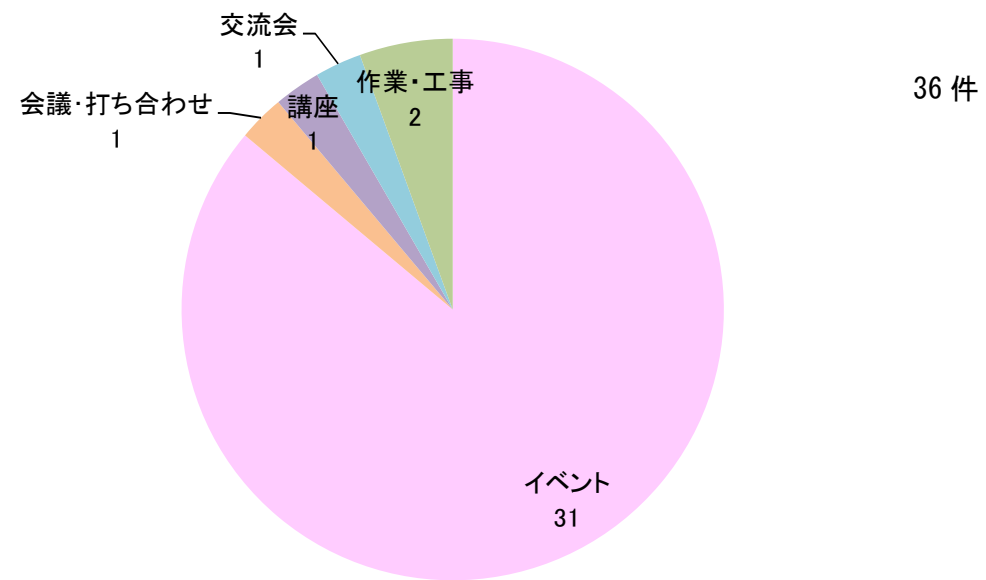
資料/施設利用者カウント調査

2. 社会実験の振り返り

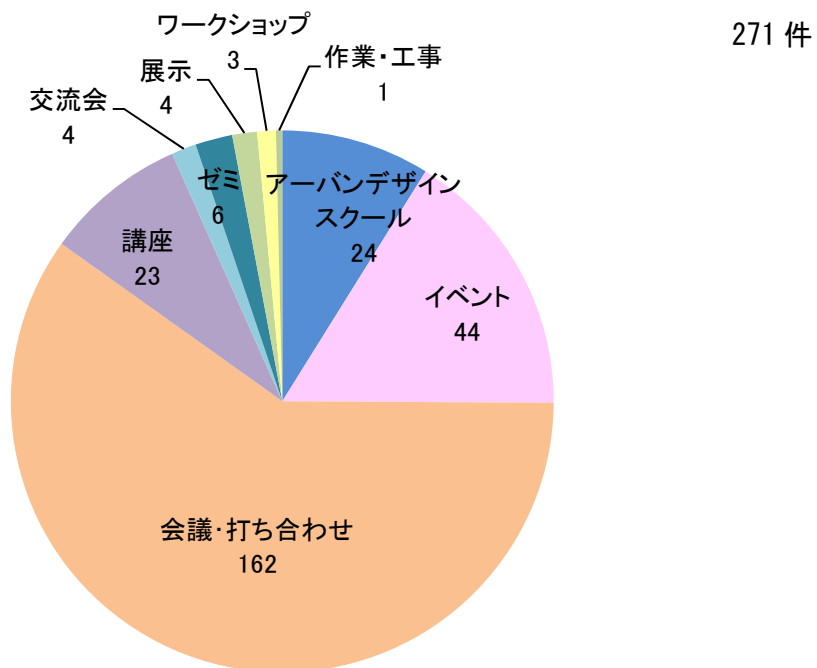
2.3 実施プログラムの報告

- ・社会実験期間を通じて、全 307 件の占用使用申請があった。
- ・内訳は、みんなのひろばが 36 件（約 1 割）多目的スペースの占用が 271 件（約 9 割）。
- ・ひろばは、自主事業や連携事業によるイベントで使用され、多目的スペースは、様々な団体・組織から会議やイベント等で使用された。

①みんなのひろばの占用使用申請案件数



②多目的スペースの占用使用申請案件数



(1) 主な自主事業



▲芝張り
(H26. 9. 23: 約 40 人)



▲クリスマス DIY
(H26. 12. 13: 約 40 人)



▲サイコロベンチ DIY
(H27. 3. 14: 約 50 人)



▲ひろば壁面デザイン WS
(H27. 5. 12: 約 15 人)



▲土曜夜市納涼イベント
(H27. 6. 20. ~H27. 8. 1: 約 140 人)



▲土曜夜市七タイイベント
(H27. 7. 4: 約 50 人)



▲土曜夜市読み聞かせ会
(H27. 7. 11: 約 10 人)



▲昔の写真展
(H27. 6. 29~H27. 7. 12)



▲第3回交流会 (M's bar)
(H27. 8. 19: 約 40 人)



▲ひろばのはたけ
(H27. 9 月~H27. 12 月: 毎回約 20 人)



▲ハロウィンイベント
(H27. 10. 31: 約 15 人)



▲ひろばの音楽
(H27. 12. 18~H27. 12. 20 約 230 人/3 日間)



▲ひろばの音楽
(H27. 12. 18~H27. 12. 20 約 230 人/3 日間)



▲クリスマス WS
(H27. 12. 23: 約 10 人)



▲在り方を考える WS
(H28. 1. 13: 約 20 人)

2. 社会実験の振り返り

(2) 連携事業

1) UDCM との連携



▲プレWS 成果発表
(H26. 11. 1 : 約 20 人)



▲オープニングフォーラム
(H26. 11. 1 : 約 100 人)



▲土のうプール
(H27. 8. 17~H27. 8. 24 : 約 500 人)



▲おばけ屋敷
H27. 8. 8 : 約 60 人



▲UDCM・みんなのひろばフォーラム
(H28. 2. 20 : 約 100 人)

2) てくるんとの連携



▲みんなのまち
(H27. 3. 21~H27. 3. 22 : 約 60 人)



▲科学教室
(H27. 7. 28 : 約 30 人)



▲バルーンアート
(H28. 12. 23 : 約 10 人)



▲マラリアイベント (学会)
(H27. 4. 25 : 約 20 人)



▲プログラミング教室
(H27. 1. 25 : 約 10 人)



▲演劇部公開稽古
H27. 7. 5 : 約 20 人

3) 周辺地域・関係機関との連携



▲スプリングフェスタ
(H27. 3. 21~H27. 3. 22 : 約 160 人)



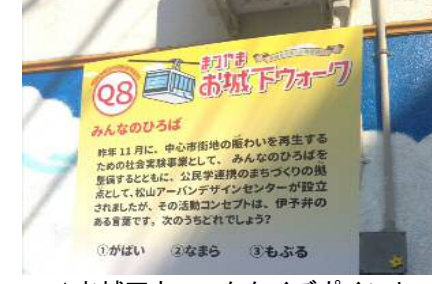
▲エフ 99 納涼落語
(H27. 7. 31~H27. 8. 1 : 約 140 人/2 日)



▲なつかし遊び in 商店街
(H27. 9. 21~H27. 9. 23 : 約 10 人)



▲今治タオル体操
(H27. 6. 26 : 約 30 人)



▲お城下ウォーククイズポイント
(H27. 10. 24 : 約 1,000 人)



▲POPUP Library
(フリーライブラリー)
(H28. 1~)

(3) 民間・その他機関の主催のイベント



▲SENSE 創作 WS
(H26. 12. 6 : 約 90 人)



▲ダンスバトル
(H26. 12. 23 : 約 50 人)



▲親子で高めよう運動能力
(H26. 12. 27 : 約 20 人)



▲ひめキュンライブ
(H26. 12. 30 : 約 100 人)



▲柑橘学びの会
(H27. 2. 22 : 約 30 人)



▲フリマ WS
(H27. 3. 15 : 約 80 人)